

第2次高知県食の安全・安心推進計画(数値目標達成状況)

資料2-1

				現状値 (平成22年度)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	評価	目標値 (平成28年度)	備考			
(1) 食の安全・安心確保のための基盤づくり	1) 危機管理体制の強化	高病原性インフルエンザ監視(立入検査)		養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	養鶏農家全戸	A+	養鶏農家全戸				
		高病原性インフルエンザ監視(モニタリング)		900羽	910羽	960羽	1,080羽	1,010羽	930羽	1,020羽	A+	720羽以上を目標に継続実施				
	2) 調査研究の推進	貝毒発生検査モニタリング		貝毒検査:延べ45回 プランクトン検査:延べ178回	貝毒検査:延べ47回 プランクトン検査:延べ84回	貝毒検査:延べ49回 プランクトン検査:延べ174回	貝毒検査:延べ49回 プランクトン検査:延べ132回	貝毒検査:延べ49回 プランクトン検査:延べ137回	貝毒検査:延べ35回 プランクトン検査:延べ104回	貝毒検査:38回 プランクトン検査:108回	A+	継続実施				
		食品衛生に関する研修会の開催		12回(実地研修を含む)	6回	7回	8回	7回	5回	7回	A+	4回以上を目標に継続実施				
(2) 食の安全・安心対策の推進	1) 生産から販売に至る監視、指導及び検査体制の整備	①生産段階における安全・安心の確保	農産物の適正使用指導	農業取締法違反による出荷の自粛	1件	3件	1件	1件	1件	2件	0件	A+	0件			
				生産履歴の記載率(農協生産部会に属する野菜農家)	94%	96%	97%	97%	97%	96%	97%	A	100%			
				マイナー作物の農業登録データの作成	16件/年	7件/年	6件/年	6件/年	6件/年	10件/年	5件/年	A	7件/年を目標に継続実施			
			環境保全型農業の推進	「こうち環境・安全・安心チェックシート(その1)」(県版農業環境規範)の実施率(農協生産部会に属する野菜農家)	69%	70%	71%	60%	76%	80%	77%	B	100%			
				「こうち環境・安全・安心チェックシート(その2)」(県版食品安全GAP)に取組む農協数	11JA	9JA	9JA	9JA	9JA	10JA	15JA	A+	15JA			
				生物的防除資材の普及率	ナス類:59%、キュウリ2%、ニラ:0%、カンキツ:1%	ナス類:62%、キュウリ15%、ニラ:0%、カンキツ:2%	ナス類:77%、キュウリ17%、ニラ:0%、カンキツ:3%	ナス類:94%、キュウリ17%、ニラ:0%、カンキツ:3%	ナス類:97%、キュウリ24%、ニラ:8%、カンキツ:6%	ナス類:97%、キュウリ33%、ニラ:8%、カンキツ:7%	ナス類:97%、キュウリ38%、ニラ:8%、カンキツ:12%	A+	ナス類:90%、キュウリ60%、ニラ:40%、カンキツ:40%	平成27年度時点における平成28年度目標値 ナス類:90%、キュウリ60%、ニラ:5%、カンキツ:40%		
		イ 安全・安心な畜産物の生産及び供給	産業動物診療獣医師に対する指導率	100%(11名)	100%(14名)	100%(13名)	100%(13名)	100%(11名)	100%(11名)	100%(11名)	100%(11名)	A+	100%			
			畜産農家に対する飼料添加物等の適正使用の指導率	100%(426戸)	100%(401戸)	100%(385戸)	100%(359戸)	100%(351戸)	100%(341戸)	100%(332戸)	100%(332戸)	A+	100%			
			牛の飼養農家に対する耳標装着等の指導率	100%(350戸)	100%(326戸)	100%(312戸)	100%(286戸)	100%(274戸)	100%(258戸)	100%(257戸)	100%(257戸)	A+	100%			
		2) 生産から販売に至る監視、指導及び検査体制の整備	②製造・加工・販売段階における安全・安心の確保	ウ 食中毒予防	自衛防疫実績(ワクチン接種)	牛:2,641頭 豚:85,155頭 鶏:2,890,000羽	牛:4,877頭 豚:109,489頭 鶏:1,852,200羽	牛:5,093頭 豚:123,599頭 鶏:1,942,500羽	牛:4,918頭 豚:113,545頭 鶏:1,386,000羽	牛:4,171頭 豚:118,724頭 鶏:1,167,420羽	牛:5,026頭 豚:112,035頭 鶏:1,247,370羽	牛:5,381頭 豚:145,165頭 鶏:1,605,600羽	A+	以下を目標に継続実施 牛:3,000頭 豚:10,000頭 鶏:2,000,000羽		
					ア 食品営業業者及び製造施設等に対する監視指導	食品衛生監視指導計画の監視指導計画達成率	100%	116%	122%	130%	123%	119%	115%	A+	100%	
						食品営業業者等を対象とした食品衛生に関する講習会の開催	269回	309回	307回	263回	275回	346回	305回	A+	250回以上を目標に継続実施	
	食品衛生指導員による食品営業施設の巡回指導			40,063件		39,124件	39,876件	38,429件	40,321件	41,084件	39,159件	A	42,000件			
	イ 食品営業業者等の自主管理体制の推進、支援			(再掲)食品衛生監視指導計画の監視指導計画達成率	100%	(再掲)116%	(再掲)122%	(再掲)130%	(再掲)123%	(再掲)119%	(再掲)115%	(再掲)	100%			
				広報媒体やホームページ等による普及啓発	8回	5回	6回	6回	8回	8回	8回	A	10回			
		(再掲)食品営業業者等を対象とした食品衛生に関する講習会の開催	(再掲)269回	(再掲)309回	(再掲)307回	(再掲)263回	(再掲)275回	(再掲)346回	(再掲)305回	(再掲)	(再掲)250回以上を目標に継続実施					
	③食品等の検査及び検査体制の充実	ア 生産出荷段階における農畜水産物の検査	農産物の残留農薬検査	生産・出荷段階での検査数	県:200検体 農協:2,000検体	県:200検体 農協:2,000検体	県:200検体 農協:1,521検体	県:200検体 農協:2,000検体	県:200検体 農協:2,000検体	県:50検体 農協:2,000検体	県:50検体 農協:2,000検体	A+	県:200検体(H27~50検体) 農協:2,000検体	平成24年度は農協検査機器更新のため、目標数値1,400検体		
				BSE検査	BSE検査(死亡牛)	24ヶ月齢以上の死亡牛全頭(247頭)	24ヶ月齢以上の死亡牛全頭	24ヶ月齢以上の死亡牛全頭	24ヶ月齢以上の死亡牛全頭	24ヶ月齢以上の死亡牛全頭	48ヶ月齢以上の死亡牛全頭	48ヶ月齢以上の死亡牛全頭	A+	24ヶ月齢以上の死亡牛全頭	法律改正により平成27年度から「48ヶ月齢以上の死亡牛全頭」が対象	
イ 流通食品の検査			食品衛生監視指導計画に基づく食品の検査率	100%	116%	124%	137%	132%	98%	100%	A+	100%				
		と場に入入される牛に対して定めるBSE検査率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	A+	100%					
		食中毒発生件数	7件(平成19~22年の平均)	6件(平成19~23年の平均)	8件	7件	4件	5件	11件	B	減少させる	食中毒は年次統計				

				現状値 (平成22年度)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	評価	目標値 (平成28年度)	備考
(2) 食の安全・安心 推進対策 の推進	2) 適正な表示 の確保	①関係法令 に基づく食品 表示の監視 指導	(再掲)食品衛生監視指導計画の監視指導達成率	(再掲)100%	116%	(再掲)122%	(再掲)130%	(再掲)123%	(再掲)119%	(再掲)115%	(再掲)	(再掲)100%	
			関係機関による合同の食品表示監視指導	12回	10回	6回	8回	8回	13回	10回	A+	10回	
			食品表示ウォッチャーの数	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	A+	20名	
	②食品の表示 に関する 普及啓発	関係機関による合同の食品表示監研修会	7回	6回	4回	6回	6回	5回	6回	A+	6回以上を目標に継続 実施		
		食品衛生講習会開催時における表示に関する普及啓発	387回	345回	366回	383回	321回	263回	300回	A	330回以上を目標に継続 実施		
3) 認証制度の 推進	農産物及び 生産者の取 り組み	園芸連主要品目におけるエコシステム栽培登録農家戸数	(平成22園芸年度) 1,474戸	(平成23園芸年度) 2,584戸	(平成24園芸年度) 3,256戸	(平成25園芸年度) 3,297戸	(平成26園芸年度) 3,307戸	(平成27園芸年度) 3,589戸	(平成28園芸年度) 3,912戸	A	(平成26園芸年度) 3,720戸	(平成28園芸年度) 4,063戸	
		加工食品及 び食品関連 施設	食品衛生管理認証制度認証施設数	11施設	15施設	18施設	22施設	26施設	25施設	旧認証25施設	A+	23施設	
(3) 安全・安心な食品 の生産及び 供給の 支援	1) 食育の推進	朝食を必ず食べる児童生徒の割合		小学生:90.5% 中学生:80.7% 高校生:75.2%	小学生:92.0% 中学生:82.8% 高校生:75.7%	小学生:91.3% 中学生:83.2% 高校生:74.7%	小学生:90.1% 中学生:82.2% 高校生:73.7%	(男子) 小学生:87.0% 中学生:81.0% 高校生:77.0% (女子) 小学生:90.0% 中学生:81.0% 高校生:80.0%	(男子) 小学生:87% 中学生:82% 高校生:78% (女子) 小学生:88% 中学生:81% 高校生:79%	(男子) 小学生:86% 中学生:80% 高校生:78% (女子) 小学生:85% 中学生:79% 高校生:82%	A	小学生:95%以上 中学生:90%以上 高校生:85%以上	
		農林漁業体験学習の取組が行われる市町村の割合		85%	85%	85%	88%	88%	85%	調査中	A	100%	
		学校給食における地場産物の活用(食品ベース)		(H21) 44.1%	(H22) 40.1%	(H23) 41.1%	(H24) 38.5%	(H25) 39.9%	(H26) 35.7%	(H27) 32.6%	B	50%以上を目標に継続 実施	
		土佐の料理传承人(組織及び個人)の選定数		56	56	59	60	59	60	60	B	90	
	食育に関心を持っている県民の割合		-	48.7%	-	-	-	-	54%	B	95%		
	2) 農林水産業 の生産から 販売に至る 支援	農産物	県内における農林水産物直販所への「安心係」配置割合		81%	87%	84%	85%	86%	89%	87%	A	100%
(4) 食の安全・安心を確保 するための相互理解と 協働の推進	1) 行政、食品関連事業者、 消費者間の情報及び意見の 交換、相互理解		意見交換会(リスクコミュニケーション)の開催	6回	6回	10回	10回	9回	9回	7回	A+	6回	

A+	22	目標値に対する達成率100%以上
A	10	目標値に対する達成率80%以上100%未満
B	5	目標値に対する達成率80%未満
—	0	客観的な事後評価ができないもの
(再掲)	3	同じ目標が前にできてきたもの
合計	40	